



平成19年8月1日(水)

帰宅困難者対策勉強会

■会 場 東京都庁第1庁舎 9F「東京都防災センター」

■時 間 13:30～16:30

■主 催 災害救援ボランティア推進委員会

URL: <http://www.saigai.or.jp/index.html>

■参加者 災害救援ボランティア推進委員会セーフティーリーダー35名

内2名 坂井事務局長と西方が災害ボランティアバイクネットワーク関東
として参加した。



災害ボランティアバイクネットワーク関東事務局

開催概要

■概要

9月1日(防災の日)に行われる「第28回八都県市合同防災訓練 東京都広域連携訓練」の開催に向けて、東京都の中でも重要な課題となっている”帰宅困難者対策”について東京都の取り組みについての説明と、ボランティアとして何ができるのかを考える勉強会が行われた。

勉強会の会場は、発災時に東京都知事が本部長となり検討・指揮をする都庁内にある「東京防災センター」で行われ、センター内の施設についての説明もあった。



開催概要

■次第

1. 開会(司会:災害救援ボランティア推進委員会事務局 天寺)

○新潟中越沖地震の犠牲者に黙祷

○挨拶 東京都総合防災部防災対策課副参事 岡村 裕二

2. 議題

①ビデオ上映(「東京都の防災」大地震に備えて)

②帰宅困難者対策と帰宅訓練について

東京都防災対策課広域連携担当係長 川島 一郎

③自衛艦乗艦時の注意事項について

海上自衛隊護衛艦「しらゆき」応急長

2等海尉 三好 誠

④施設見学

東京都防災通信課防災設備係長 室伏 一夫

3. 質疑応答 16:30 閉会



開催概要

■帰宅困難者対策での説明(要点)

【東京都に影響を及ぼす地震】

①首都直下型(プレート内部の破壊によるもの) 30年以内に起こる可能性70% 東京の震度7クラス

・被害予想(死者7,000~8,000人 帰宅困難者700万人 等)

※現在は、350万人までしか避難所対応できない

②東海地震(海溝型) 30年以内に起こる可能性84% 東京の震度5程度

③東南海地震 東京から離れているが小笠原に津波が押し寄せる可能性あり

④関東大地震(震度8クラス) 100年以内には来ないと想定

【東京都の減災目標】

①住宅倒壊や家具転倒等による死者数を半減 3,000人 ⇒ 1,500人

②住宅倒壊や火災による避難者3割減 300万人 ⇒ 210万人

③外出者1,200万人を4日以内に帰宅

○上記目標に基づき東京都では各種対策を実施しているが、自分の命は自分で守る(自助)という意識が

重要で、そういった人達が増えることによって家族や地域を守る(共助・公助)ことにより減災へとつながる。

○地震が起きたら“すぐに徒歩帰宅したりむやみに移動せず、その場にとどまって様子を見ることが重要。

開催概要

■ 指令情報室を見学

正面のモニターには様々な情報がリアルタイムに表示される。

